

ごしごし福島
福島訪問・活動報告書



20170922

東京駅集合。

2017年4月2日。天候にも恵まれました。やまびこ129号で福島へ。



早速、ごしごしスタッフの大谷先生が線量を測ります。
各自、旅のしおりに記入。今日一日、行き先で線量を測り、記録していきます。

※大谷浩樹：帝京大学 医療技術学部 診療放射線学科 教授



新幹線にて。（東京→福島）



除染情報プラザにて。（福島市。2017年7月14日より「環境再生プラザ」に名称変更）

難しい放射線のことを簡単に身近に感じられるように係の方が説明してくださいました。

★除染情報プラザの前の放射線量：0.17 μ シーベルト（公表されている福島の平均的な数値だった）



桜の聖母学院小学校へ。(福島市)

小学校の近くにバスをとめて、学校の周りを歩いて一周しました。今回も、桜の聖母学院小学校のお友達には会えなかったけれど、いろいろな想いを抱きながらゆっくりと歩きました。ここに通っていたお友達と文通をしていたこと。

この校庭で、この空で、自分たちがつくった凧を飛ばしてくれていたこと。5年前に来ることはできなかったけれど、いまここに立っているということ。



★桜の聖母学院小学校の周り：0.19 μ シーベルト

大きな木の近く：0.21 μ シーベルト

(ここだけ一瞬線量が高くなったのは、木の周りの土のせいだと大谷先生が教えてくれました)



手紙でしかつながっていなかった子どもたちが通っていた所に
来られたことが信じられませんでした。
送った凧を飛ばしてくれた校庭などが
生で見られてよかったです。
(中学生レポートから)

もし、あの時に、桜の聖母学院小学校に行けていたなら
と思うと、すごく悲しかったです。その当時、桜の聖母
学院小学校では、県外に多くの生徒さんが転校していつ
いた時だったそうで、そんな時に届いた私たちの手紙は
嬉しかったと私のペアだった子は手紙で教えてくれました。
今回、実際に福島に行けて、すごく嬉しかったです。
その時のペアの子に会うことは出来ませんでしたが、
桜の聖母学院小学校へ実際に行くことが出来て良かったです。
(中学生レポートから)

郡山に向かうバスの中で。

大谷先生から改めて放射線のことを学びました。



高速道路から、汚染土の山が見えました。



安達太良サービスエリアで休憩。(福島市→郡山市)

ソフトクリームがおいしかった！東京にある福島のアテナショップの方が、ごしごし福島のメンバーを通して今回の中学生たちの活動を知り、福島出身ならではの様々な情報を提供してくれました。



柴宮幼稚園に到着。(郡山市)

柴宮幼稚園は、ごしごし福島が2012年に除染活動を行った幼稚園。屋上プールと通園路および駐車場を、郡山の除染専門チームとともに除染しました。園長先生が、震災当時の話を子どもたちにしてくださいました。



以前、ごしごし福島が除染のお手伝いをした屋上プール。



園庭に飛び出し、元気に遊ぶ子どもたち。

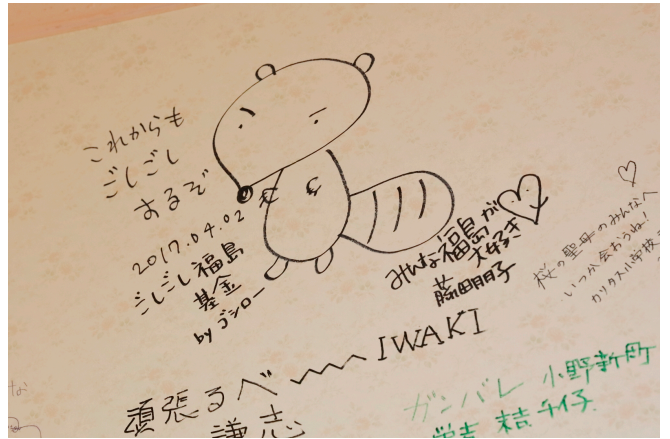


リカちゃんキャッスルへ。(小野町)

リカちゃんキャッスルは、着せ替え人形・リカちゃんの工場および展示施設です。東京電力福島第1原発から40キロほどにあり、震災で大きな打撃を受けましたが、たくさんの励ましに支えられて復活。館内の通路には震災後に訪れた見学者のメッセージが壁いっぱい書かれています。



壁の寄せ書き。書くスペースがないほどギッシリ。被災された方が自分を励ましているものや各地から来た方たちの応援メッセージで埋まっていました。それぞれの想いを壁に書く子どもたち。ゴシローも。



東京へ。

18:30 郡山発 やまびこに乗って東京へ。朝会ったときとは全然違う顔で解散。後日、それぞれの想いをレポートにして送ってくれました。



線量測定記録。

自分たちが普段通っているカリタス学園と、ツアーで訪れた東京・福島・郡山の線量を測定しました。



◎カリタス学園（神奈川県川崎市）会議室
0.11 μシーベルト

◎東京駅地下（朝）
0.16 μシーベルト



◎東京駅ホーム（朝）
0.09 μシーベルト



◎新幹線内（行き）
0.12 μシーベルト
◎新幹線の窓辺（行き）
0.09 μシーベルト
◎車内平均（行き）
0.15 μシーベルト



◎郡山駅ホーム（行き）
0.08 μシーベルト



◎福島駅ホーム（10：30）
0.11 μシーベルト



◎福島駅
0.12 μシーベルト



◎桜の聖母学院小学校（福島市）
0.19 μシーベルト



◎柴宮幼稚園屋上プール（郡山市）
0.13 μシーベルト



◎リカちゃんキャッスル（小野町）
0.11 μシーベルト

